

2025年3月期(2024年度)第2四半期 決算説明会資料

2024年11月5日

住友バークライト株式会社

代表取締役社長 藤原 一彦



2025年3月期(2024年度)第2四半期 決算概要

2025年3月期第2四半期 連結業績 (前年との比較)

(金額単位: 億円)

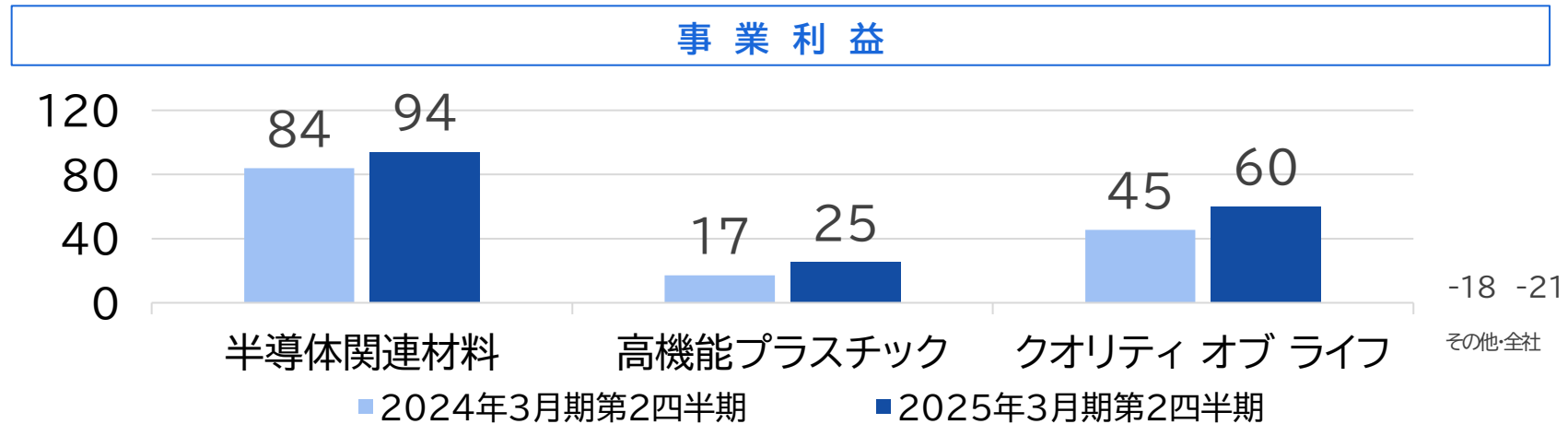
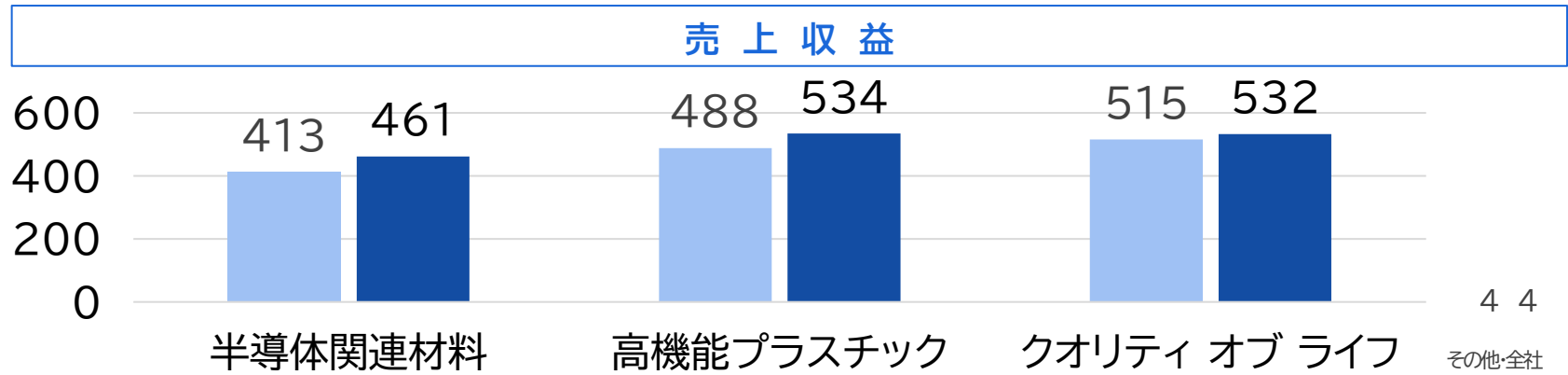
	2024年3月期 第2四半期 実績①	2025年3月期 第2四半期 実績②	前年同期比較	
			金額(②-①)	増減率
売上収益	1,419	1,531	112	7.9%
事業利益	128	158	30	23.7%
営業利益	126	157	31	24.3%
当期利益	111	127	17	15.1%

※「事業利益」は「売上収益」から「売上原価」、「販管費及び一般管理費」を控除したベース
「当期利益」は親会社の所有者に帰属する中間利益

為替レート	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期
USD(\$/¥)	141.31	152.30
EUR(€/¥)	153.51	165.46

事業セグメント別業績比較(前年との比較)

(金額単位:億円)



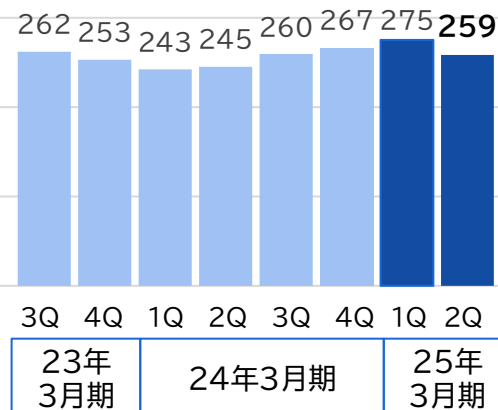
事業セグメント別 四半期販売推移

(金額単位:億円)

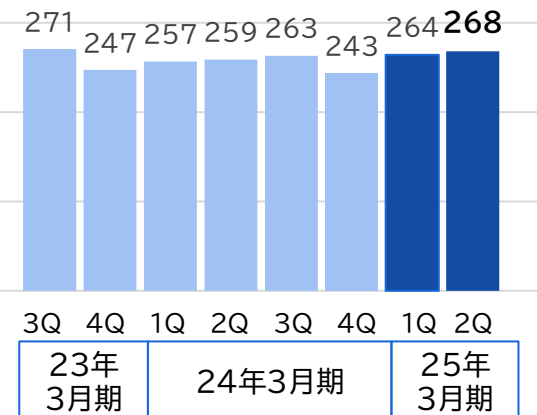
半導体関連材料



高機能プラスチック



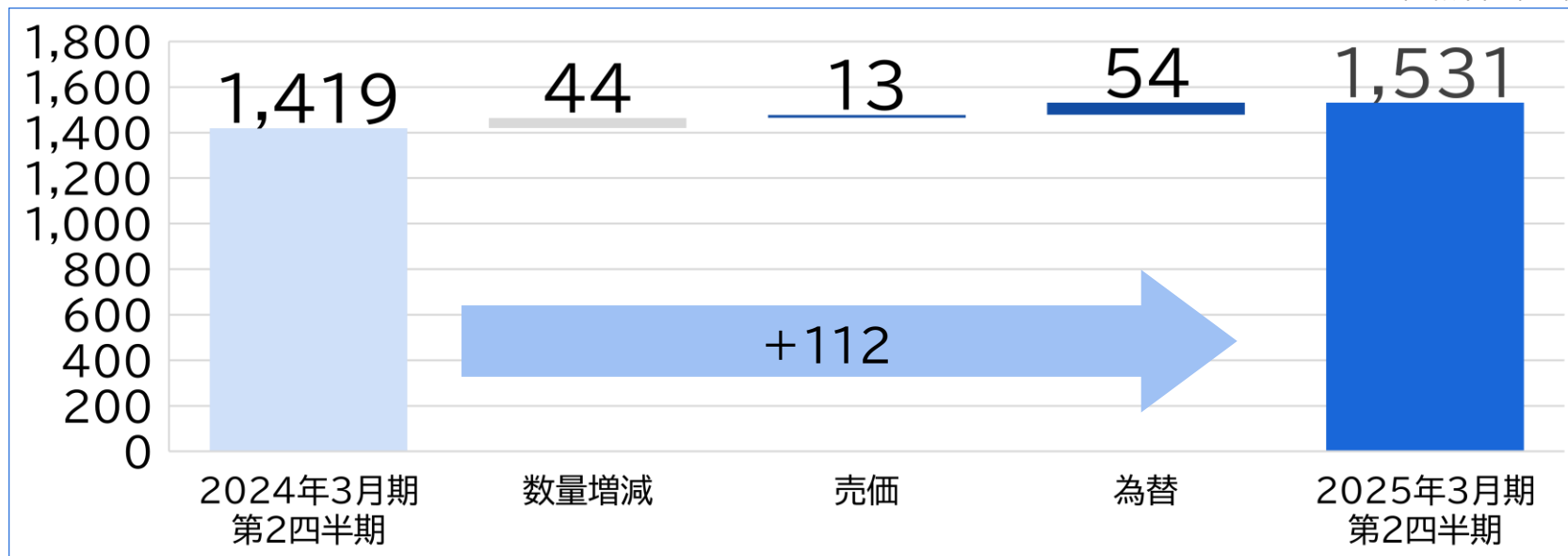
クオリティ オブ ライフ



- 半導体関連材料 : 引き続き中国の半導体市場が好調。
- 高機能プラスチック : アジアで回復が進むが、欧米の季節性による稼働日減影響を受けた。
- クオリティ オブ ライフ : 医療機器、フィルム・シートを中心に堅調に推移。

売上収益増減要因(前年との比較)

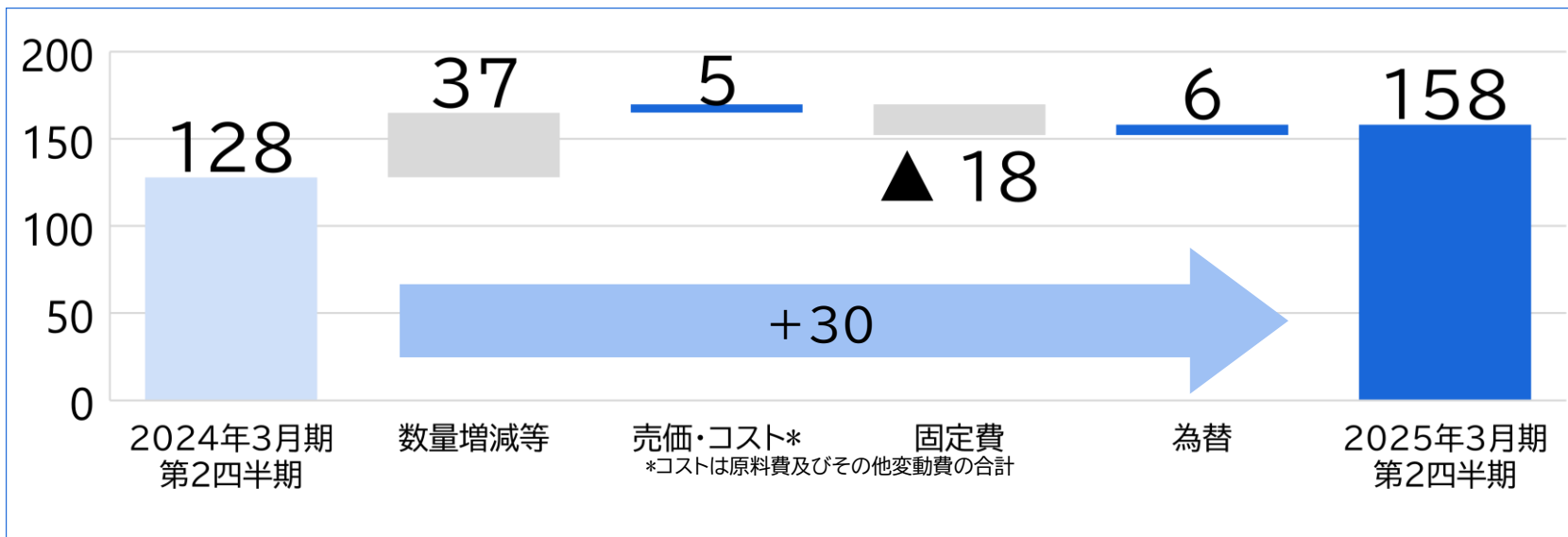
(金額単位:億円)




セグメント別	数量増減	売価	為替	合計
半導体関連材料	24	4	21	49
高機能プラスチック	17	2	27	46
クオリティ オブ ライフ	4	8	5	17

事業利益増減要因(前年との比較)

(金額単位:億円)



セグメント別	数量増減等	売価・コスト*	固定費	為替	合計
半導体関連材料	15	▲0	▲9	4	10
高機能プラスチック	17	▲2	▲8	2	8
クオリティ オブ ライフ	5	7	2	1	15
その他	0	0	▲3	0	▲3



2025年3月期(2024年度) 通期業績予想

※2024年5月13日発表と変更ありません

2025年3月期 通期 連結業績予想

※2024年5月13日
発表と変更ありません

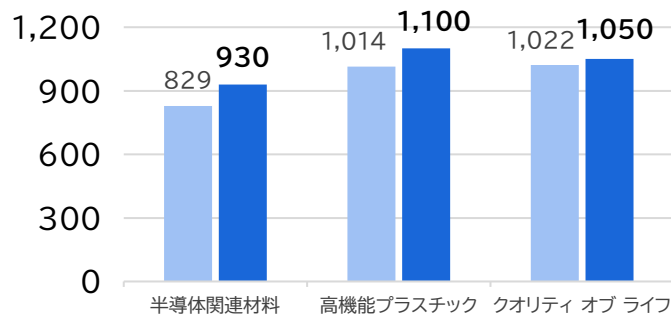
SUMITOMO BAKELITE CO., LTD.

(金額単位:億円)

	2024年3月期 実績①	2025年3月期 予想②	前期実績比較	
			金額(②-①)	増減率
売上収益	2,873	3,090	217	7.6%
事業利益	275	300	25	9.3%
当期利益	218	240	22	9.9%

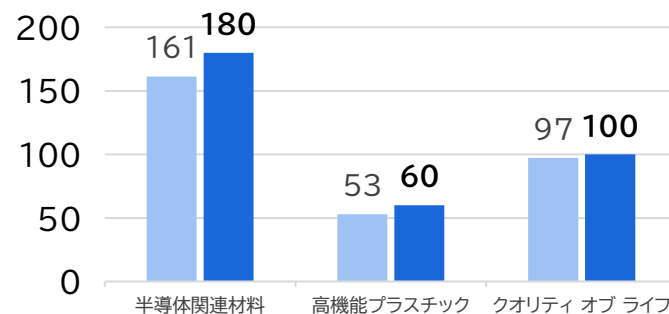
※「事業利益」は「売上収益」から「売上原価」、「販管費及び一般管理費」を控除したベース。「当期利益」は親会社所有者に帰属する当期利益

セグメント別売上収益



2024年3月期実績

セグメント別事業利益



2025年3月期予想

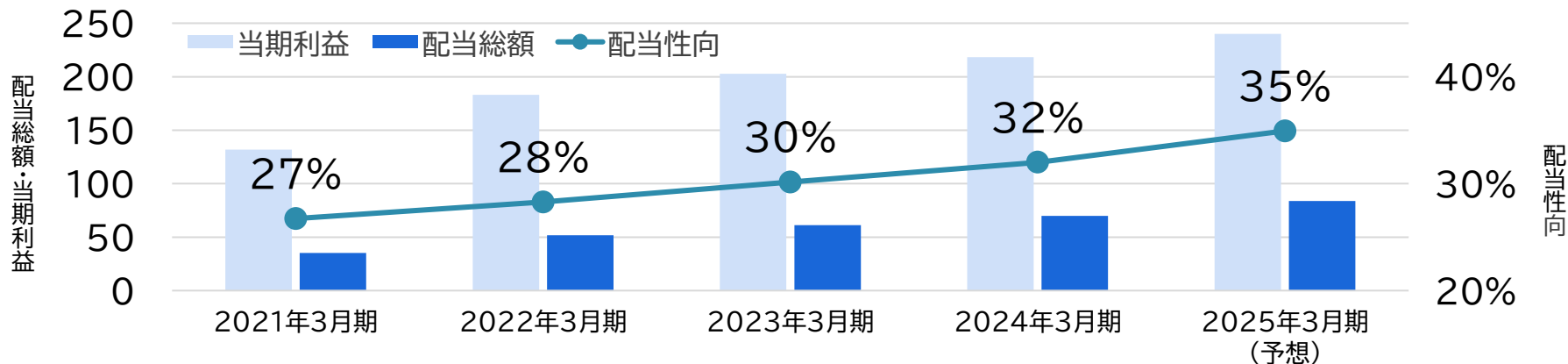
株主還元

■ 配当予想(2025年3月期): 90円/株(中間45円・期末45円)

※2024年5月13日
発表と変更ありません

1株当たり配当予想は前年度比15円増配(分割後ベース)

(金額単位:億円)



配当金(円)/株	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期(予想)	
					分割前ベース (参考)	分割後※ ベース
中間配当	45.00	50.00	60.00	70.00	(90.00)	45.00
期末配当	30.00	60.00	70.00	80.00	(90.00)	45.00
年間配当	75.00	110.00	130.00	150.00	(180.00)	90.00

※2024年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期以前は、当該株式分割前の配当額を記載しております。



各セグメントの 上期総括/下期の見通し、取組み

半導体関連材料【上期の総括/下期の見通し、取組み】

単位: 億円

	事業利益	売上収益
上期実績	94	461
進捗率	52%	50%
通期予想	180	930

上期の総括

- 中国市場が想定以上に好調に推移
- 台湾の民生用需要、東南アジアの車載半導体市場は停滞
- EVは減速感が強まるも、モビリティ3製品はHV需要増により堅調
- AI関連で顆粒封止材、MUFの需要が増加
- パワー半導体関連はトータルソリューションで顧客に展開
高耐熱封止材、TIM* (セミシタリングペースト)、バッファークोट材

*Thermal Interface Material の略

下期の見通し、取組み

- 中国市場は継続して伸長
- 車載半導体の在庫調整が長期化
- エッジAI半導体やメモリーの需要が伸長、顆粒封止材、MUFを拡販
- 次世代デバイス用材料の開発に向けて外部協業を強化
- 中国、台湾の新工場の顧客認定作業を進め、本格量産に備える



台湾住友培科股份 新工場



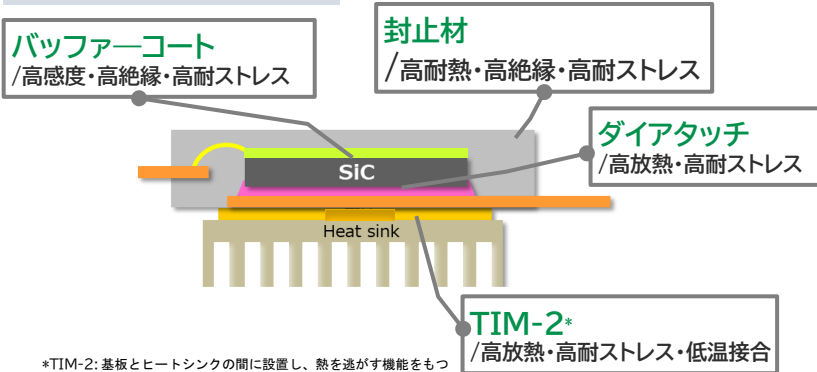
蘇州住友電木 新工場

半導体関連材料【トピックス】

パワー半導体(モジュール/ディスクリート)

- ・次世代パワー半導体の要求特性に対応
バッファコート材の採用拡大
高耐熱封止材、TIM(セミシンタリングペースト)の
サンプル出荷開始
- ・One Sumibe活動による部門横断型の
トータルソリューションを提案

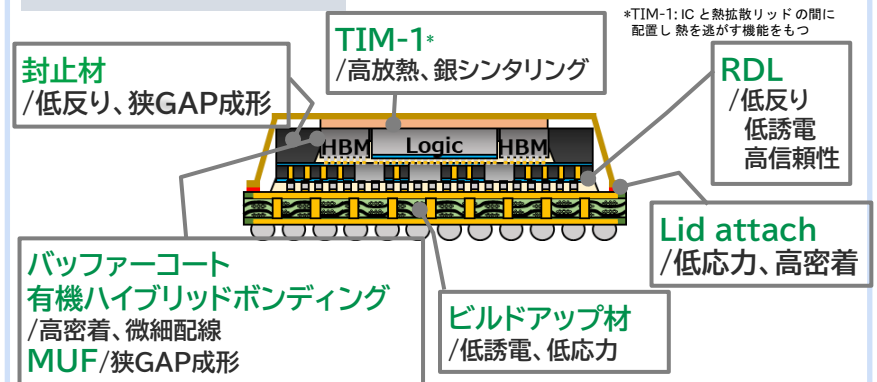
当社材のターゲット



AI半導体

- ・エッジAI半導体でMUFや顆粒封止材の受注増加
今後も市場拡大の見込み
- ・3DS-TSV用封止材の応用でHBM向けを開発中
- ・液状封止材の検討を開始
- ・AI半導体の大型化に伴うPLP工法への
顆粒封止材の開発を推進

当社材のターゲット



高性能プラスチック【上期の総括/下期の見通し、取組み】

単位:億円

	事業利益	売上収益
上期実績	25	534
進捗率	42%	49%
通期予想	60	1,100

上期の総括

- アジアの民生用途が需要回復
- 自動車市況が想定を下回り、特に北米の需要が低調に推移
- 航空機内装部品は計画通りの実績
- 環境対応材や超高耐熱などの機能を付与した新製品の開発
- One Sumibe活動によりパワーモジュール用材料の拡販強化

下期の見通し、取組み

- 自動車市況は回復途上、民生用途は堅調に推移
- グローバルで収益性改善策の推進
ロボティクス、IoTによる生産性向上、生産拠点の合理化、不採算製品の整理
- 航空機内装部品は顧客状況に合わせた体制へ。欧州向けは順調に拡大
- 強化領域の販売強化、マーケティング部の設置
EVバッテリー向け耐火材、COPLUS(シクロオレフィンポリマー)、放熱材料など



高性能プラスチック【トピックス】

高付加価値品へのポートフォリオ変革

- ・マーケティング部の設置による市場開発機能の強化
- ・強化領域製品の開発、拡販

電動車(バッテリー、e-Axle、各種電動パーツ)

EVバッテリー用耐火材、量産開始
 電動車の進化に対応する高電圧、高耐熱材を開発、サンプル出荷を開始

半導体

パワーモジュール向け液状エポキシ注型材でビジネス拡大中
 放熱材料も車載用途で今期実績化へ。次世代向けも評価進行中
 COPLUS™(シクロオレフィンポリマー)のマーケティングで引き合い多数

航空機

欧州向けカーゴライナーを今期量産開始見込み。バイオマス材料など積極提案中

- ・環境対応材

超低モノマー水溶性フェノール樹脂を半導体や電子材料など複数用途で量産開始



高電圧、高耐熱対応
成形材料



COP に、合成技術でさらなる機能・性能を PLUS していく



超低モノマー水溶性
フェノール樹脂

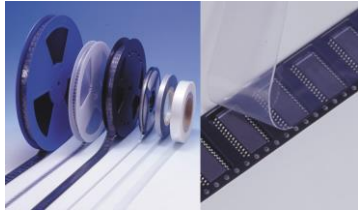


超低モノマー水溶性
フェノール樹脂

クオリティオブライフ関連製品【上期の総括/下期の見通し、取組み】

単位:億円

	事業利益	売上収益
上期実績	60	532
進捗率	60%	51%
通期予想	100	1,050



カバーテープ



ソーラーアンカーを用いた防水シート

上期の総括

- 【ヘルスケア】血管内治療デバイス、血液バッグのアジア輸出向けが好調に推移
- 【フィルム・シート】産業用で中国の電子部品需要が回復、カバーテープの販売増
- 【産業機能性材料】道路物件など建材用途の平板や波板の販売が好調
- 【防水関連】ソーラーを軸に高付加価値品の販売を強化
- 各事業で価格改定の取組みを強化、採算を改善

下期の見通し、取組み

- 【ヘルスケア】国内で消化管ステントの販売を強化
- 【フィルム・シート】医薬品PTPでジェネリック好調継続。バイオマス材料の拡大
- 【産業機能性材料】車載光学製品(ヘッドアップディスプレイ)用途で販売拡大
- 【防水関連】大手ハウスメーカー向けが伸長。工事効率化を進め採算性向上

クオリティオブライフ関連製品【トピックス】

ヘルスケア

・消化管ステントのラインナップ拡充

胆管ステント サイズや機能を拡充し販売拡大
大腸ステント、十二指腸ステント

症例ケースレポートによる販売促進



胆管ステント



ジャバラ大腸ステント

・MPS*デバイスの開発 *Micro Physiological System (生体模倣システム)の略

創薬における動物実験の代替法である
 MPS用デバイスの顧客評価を開始
 2025年度中の販売を目指す



MPSデバイス

産業機能性材料

・機能材3製品の販売拡大

アイウェア用光学材料

ハイコントラスト偏光板製品のラインナップ拡充

ヘッドアップディスプレイ(HUD)用光学材料

加工工程を取りこみ、欧州市場でシェア大幅増

絶縁用難燃ポリカーボネートシート

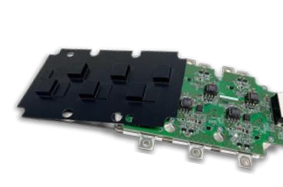
PFAS&ハロゲンフリーかつ高い難燃性で電動車(xEV)
 の電装部品向けで採用拡大



アイウェア用光学材料



HUD用光学材料



絶縁用難燃
 ポリカーボネートシート



SUMITOMO BAKELITE CO., LTD.

<https://www.sumibe.co.jp/>

■ 免責事項について

当社は、本資料の情報がお客様にとって有用なものとなるよう努めておりますが、特定の用途における正確性や妥当性を保証するものではありません。ご利用にあたっては、関連する用途との適合性や安全性を別途ご検証ください。また、本資料に含まれるいかなる事項も、知的財産権等に関する助言や許可を与えるものではありません。

■ 著作権について

本資料の著作権は、特に断りのない限り、当社またその関連会社に帰属します。当社の許可なく、本資料を無断で複製または転用等することを禁止しております。

■ 会社名の表記方法について

本資料における会社名の表記にあたっては、「株式会社」等の表記を省略している場合があります。